

# 富士川

3月号 昭和46年3月25日 No. 129 富士川町役場発行  
富士川町岩淵121番地  
(☎) 1111

迷惑をかけない  
町民憲章にもとづく今年の  
目標は「迷惑をかけない」  
人に不快な思いをさせない  
ことが町民の相言葉になりま  
した。  
会合に遅刻しない、ゴミを  
指定場所以外に捨てない等々



## 今議会最後の定例会

改選4月25日

町議会三月定例会は、三月十日  
十一日の両日にわたり、老人福祉  
センター会議室で開かれました。  
46年度予算審議を中心に十八案  
件を原案どおり可決。  
今議会最後の定例会であり、来  
月四月二十五日に改選、五月の臨  
時会を経て新議会が構成されるこ  
とになります。

# 富士川由比線

## 拡 幅 進 む

富士川由比線は南松野住宅地区を横断し、由比町に通ずる路線。しかし道幅がせまく幹線の機能が果せず町の懸案道路でした。44年度から拡幅改良工事に着手。

○万円)を実施する予定。

これは南松野かんがい排水路事業と並行して施行されています。なお、44・45年度完成部分の舗装は農林漁業資金をもって実現させる予定です。

### 選 管 委 員

#### 改 選 さ る

選管委員任期のため、三月十一日、選挙を経て次の方が就任。

■選挙管理委員 (敬称略)

小野日央(再) 望月鋤(再) 桐谷定雄(再) 藤島実(再)

■同補充員 (敬称略)

深沢玄誠(新) 若月雄治(新)

太田秋房(新) 小沢素良(再)

町のこの路線に対する第一次全体計画は、平清水地先まで総工費四千八百万円をもって拡幅を実施しようというものです。このため、44年度には五五四万円、45年度に五〇〇万円を投じ、手島組(法月寿作代表)の施工で入口から六〇〇メートルまでの拡幅を終了、46年度には三〇〇メートル(四五



### フッ素ガス蓄積量

#### 調 査 結 果

静岡薬大産業衛生教室に依頼していたフッ素ガスの蓄積量調査の結果をお知らせします。

測定点は沢上、対象作物はみかんの二年葉で、44年度三五八PPM、45年度は一六二―一四九PPMでした。低下しているのは、天候・気温・湿度および改善実施計画の実情と総合関連した結果で、これで安心は禁物、さらに五・二PPMが自然の状態であることを考えると、今後の監視体制はいっそうきびしくする必要があります。

これからの監視対象作物として里芋、トウモロコシ、瓜類、みかん、ウラジオラスがあげられます。観察して変化に注意しましょう。

■試験グラジオラス栽培

日軽金より五百メートル区切に18カ所栽培試験をします。

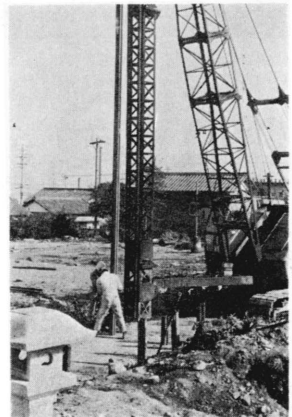
### 46年度一般会計

#### 五億九千万円

昭和46年度の当町一般会計予算は、歳入歳出予算それぞれ五億九千七百四十万円となり、昨年当初と比べて32%増になりました。

(予算関係の詳細・次号)

庁舎は、3月12日の起工式を経て着工。12月15日の完成を目指し土木機械の音も快調です。



## 公害のない町に

### 町、各種の対策

各種の公害問題をかかえている当町では、昨年十二月、町内の公害関係団体を結集した「富士川町公害対策連絡協議会」が発足し、それぞれの専門部会が活動しています。

#### ◆日軽金フッ素公害対策

フッ素発生源の調査として、静岡薬科大学ならびに県柑橘試験場へ委託し、みかん・米・そ菜の生育・収量・F含有量の分析調査を昭和四十四年から継続実施、町内五カ所に設けてあるみかん試験園の生育調査とFガスのアルカリ紙調査を行なっています。

#### 公害対策室

#### を新設

なお、四月一日から、県下町村のトップをきって新たに公害対策

録による観測を治めました。

さらに本年一月からは、デボジットゲージによる雨水中のF量調査を町内五カ所(宮町・川坂・小山・木島・二小)に測定点を設け、毎月の降雨量のなから検出されるフッ素・SO<sub>2</sub>・チッ素酸化物塩素・鉛などの含有量を分析することにより、自動的記録と直接大気中のF量調査の二本建による環境調査を行なっています。

なお、発生源に対しては、県公害課と共同により、町職員による電解工場内の立入検査を行なっています。

日軽金浦原工場の計画では、公害防除施設の改善に昭和四十三年から四十七年度まで、十八億円を投じ、四十二年のF放出量を三分の一に減少させるため、洗浄施設の増設、ドーア、上部シールの構造改善を行ないます。

しかし、毎年のように農作物に与える被害は大きく、昭和三十四年頃から煙害処理委員会が発足し被害対象地区(西部実行組合一九二戸・五〇ヘクタール)に対して補償が行なわれてきました。が最近における被害地域の拡大から、本年度より、東部組合(一三〇戸五七ヘクタール)・中部組合(一九八戸一〇五ヘクタール)も補償対象にはいり、今後の被害状況に応じた処理を行なうことになりました。

た。

一方、日軽金に対しては、昨年十一月、要望書(内容については12月号2ページ参照)を提出していましたが、本年一月、この回答(次号詳報)が寄せられ、また説明会が開かれています。

◆大気汚染公害対策

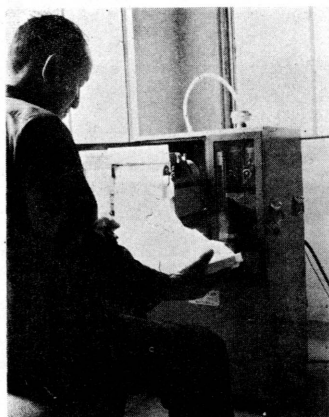
フッ素を除く大気汚染としては亜硫酸ガスの公害があります。一昨年の東電富士川火力発電所の建設問題は、全国的な公害問題として発展、現在のところこれに対する動きは見られませんが、この建設に反対する一市四町(富士宮・芝川・富士川・蒲原・由比)の連絡協議会を

通じて協力をとりつつこれに対処しています。当町は、大気汚染防止法で、排出基準は〇・〇五PPM以下と定められていますが、昨年、県庁とテレメーターで結ぶ自動測定機、微風向計が第一小学校屋上に設置され、毎日のデータが記録されています。

町内の工場事業所に対しても、それぞれ基準にあわせた施設の改善と燃料の低硫黄化をすすめており、四十四年度の年間平均値は〇・〇二二PPMと漸次低下しています。

◆山砂利公害対策

松野地区は、鷺田(サギノタ)れき属と呼ばれ、由比町入山にかけての一带は、無尽蔵といわれる山砂利の宝庫で、最近、河川砂利



一小のFガス自動測定機と記録を調べる町職員

の枯渇と下流採取禁止にともない砂利業者がこれに目をつけ、山砂利採取計画と申請が県知事あて出されています。

現在申請されているのは、南松野平清水地内の約三万二千㎡、日量一千五百トンの砂利をダンプ車一日三百台により千八百メートルの砂利専用道路をつくり搬出しようとする計画と、北松野鷺田地内

約三万五千㎡、日量二千トン専用ベルトコンベヤー三千三百五十メートルにより搬出しようとする二つの計画が出されています。

これについては、現在まで地元対策協議会、議会山砂利対策委員会、公害対策連絡協議会の山砂利部会が現地調査を行ない、それぞれの意見のもとに治山・治水の災害防止、交通公害対策など、きびしい規制をつけ県に上申することになっています。

◆交通公害対策

県道富士川富沢線は、一日交通量一万二千台、この内ダンプ車七千台という文字どおりダンプ道路化しています。

昨年十月、地元の協力を得て、町が調査した自動車の排ガス・粉じんや騒音測定は、いずれも国道一号线沿道より高い数値を記録しています。

このため、町は、将来を見通した交通体系と交通公害除去の面から、県道バイパス道路の開設を実現させるため、一昨年十月、産業開発道路開期成同盟会を設置し国・県(運動)を展開しています。

さらには、交通公害が沿道住民を守る暫定策として、すでに使用している南松野馬坂から岩河坂下に至る河川道路を複線化し、本年四月二十六日開通予定の国道富士

由比バイパスに接続するよう、延長三千二百メートル、幅員七メートルの河川道路を新設しようとして、目下、県において工事を進めておりです。

この河川道路が完成すれば、交通規制とともに、県道のダンプ交通量は大きく減少するものと期待されています。

また、恒久策のバイパス計画も本年一月から三月にかけ、木島(坂下)間の測量が開始され、具体的計画策定へと進んでおります。

◆その他の公害対策

町内工場から排出される汚水対策については、現在計画中の都市下水路が完成するまでの措置として、水質検査を実施して、常時監視の体制をとっています。

田子浦港のヘドロを富士川河川敷左岸に処理する問題は、右岸の当町にとっても大きな関心事であり、先般、県に対し、硫化水素ガスの防止対策、監視体制などについて要望書を提出しています。

大気汚染から住民の健康を守るため、肺活量調査器を購入しましたので、学童や老人の健康調査を常時行なう計画です。

また、本年は、公害測定器のうち、騒音計、水質検査計も購入し公害対策をいっそう充実していきます。

# 激戦予想される

## 町 議 選

四月二十五日

統一地方選挙が近づきました。県議会議員の投票日は四月一日(告示・三月三〇日)町議会議員選挙は四月二五日(告示・四月十八日)

公害排除、自然復活を叫ぶ国民の声が、地元選挙への関心をたかめている。社会状況のなかで、わたくしは富士川町民も、あらためて地域の問題を見つめ、共同して立派な町づくりをするために、この選挙に真剣に参加したいもの。もっとも、わたくしたちのこの意識が反映されてか、今回の町議会議員選挙は、今までにない激戦が予想されています。

つきあい投票や情実投票をやめまた選挙にかかわりある飲み食いなどは勇気をもって断わり、明るく正しい選挙を行なっていただくよう切望します。

### 簡単になる

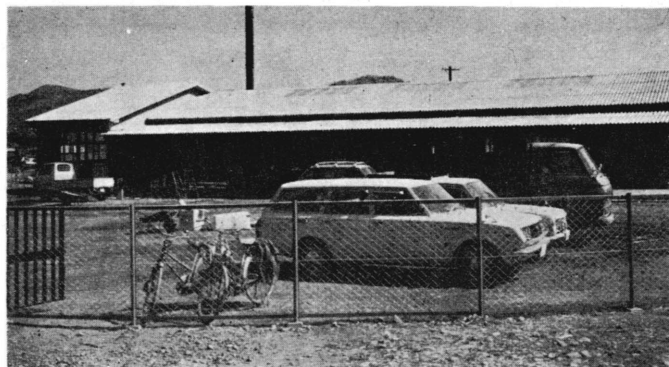
### 不在者投票

不在者投票が簡単になりました。不在者投票は選挙の当日投票で

きない人のため前もって投票できる制度ですが、その手続が一部変更り今までも便利になりました

## 北松野保育園 完成

北松野保育園が完成、3月29日に落成式が行なわれました。北松野遊園地に建設されたもので、60人の園児を収容できる園舎です。



第一に不在者投票事由の拡大です。不在者投票を行う人で勤務または業務に従事する場所が選挙人の属する市町村の区域外でなければなりませんでしたが、今回の改正では、その場所が選挙人の属する投票区の区域外であればよいことになりました。

この改正ではたたくさんの人が「不在者投票しようと思えばできる

「ことになりませんが、ここで注意いただきたいのは、公選法では投票は投票日に投票を行なうべきであり、選挙人は投票日に投票に行けるよう、できるだけ都合をつけるべく努めなければならないという原則を変更したものではありません。

第二に不在者投票のために投票用紙の請求を選挙期日の告示前に請求ができるようになったこと(請求のみで、投票用紙の交付は公示または告示後で、特に郵便によ

る請求の場合便宜を図った) 第三に不在者投票事由証明書を廃止し、自分が投票日に投票所へ行けない事情をのべ、それに間違いない旨を誓う「宣誓書」に切り変えた(用紙は選管にあります) 以上三点により、選挙人は印鑑だけを持って選挙管理委員会(役場)へお出かけになれば不在者投票できるようになりましたが、「不在者投票をする人は前もってちょっと選挙管理委員会」に問いあわせてください。

きたるべき町議選の前哨戦を迎え、各立候補者の顔ぶれもほぼ固まってきたと思います。

町民の一人として、立候補者が町民のための政治的信念をもって立つかどうかを見きわめたいと思います。

金バッヂの魅力は私達もよくわかりますが、町民を踏台にした立候補だけはやめてください。町民に密着した政治を志す人に立ってほしいと思います。

今夜のニュースで、竹山県知事は、富士川火力の推進をヘド口問題より優先して言明しており、富士川町政の前途は多難だと思えます。

町民一致頑張っていきたいと

### 声

考える者は私一人でしょうか。町民とかけ離れた政治が如何ようになるか、町民の声を反映した政治をしていただきたいと思えばかりです。

皆さん、明るく清い選挙で町民の代表を選びましょう。

立候補する方々は、各々信念を披歴して、堂々榮譽をになうことをお祈りして町民の声といたします。

※投票者の希望により匿名

▽——△ 町議選の一票 立候補者の人柄、日常の言動から、この人ならば、輝かしい将来の発展が約束される富士川町の町議会議員としてふさわしいと思う方へ投じたい。

## 一般家庭の水道料金

### 四月分から値上げ

四月分から、一般家庭の水道料金が値上げになります。(去年九月発行特集号に掲載)

#### 水道

いままでも基本料金が12m二百円でしたが、10m二百三十円となり超過料金は二十円が三十円となります。

#### 簡易水道

基本料金はすべて二百円となり超過料金は、松野(矢所を除く)室野地区ともに二十円になります。ただし、矢所地区は十円据置きとし、木島地区は、人数制として、一人増すごとに三十円が基本料金に加算されます。

#### メーター使用料無料となる

いままでは、一般家庭で一カ月三十円の使用料を水道料金といっしょに徴収していましたが、これからは、二十ミリ以下のメーターはすべて無償になりました。

ただし、二十五ミリ以上の大きいメーターは従前どおりの使用料を徴収。

・以上のように値上げになり、今後五年間、この料金で衛生的な飲

料水を皆さまのお宅へお届けします。

望月水道課長の話「昔から新聞代と水道料はほぼ同じといわれていました。なにとぞ独立採算制の水道会計にご理解とご協力をお願いします」

なお、45年度分二、三月分の納期は、月末までとなっています。とくに今月は決算月ですので、納期をお守りください。

### 米の生産調整

#### 町は百トン

昭和46年から50年まで五カ年間の生産調整が行なわれました。

富士川町の生産調整目標数量は一〇一トン(二七・五ha)です。

国は、これと全国で二三〇万トン(五四万ha)減産する方針。

このため政府は、米の買入れ制限を実施、ことしは全国で七六〇万トン(自主流通米を含む)に制限されています。

休耕の場合は、農業共済基準収

獲量によって計算した数量にキロあたり六八円を乗じた額です。転作の場合は、普通転作と特別転作とあり、一〇アールあたり五千円から一万円の奨励交付金が上積みされます。

### 確定申告の訂正

#### 訂正

確定申告は三月十五日で終了しましたが、この確定申告にまちがいがあつた場合には、「修正申告」や「更正の請求」の手続をして正しい税額に訂正することができます。また、確定申告をしなればならない人が申告を忘れていたというときには、「期限後申告」をすることが出来ます。

これらの手続をしないでいまますと、過少申告加算税や無申告加

### 富士由比バイパス

#### 四月下旬開通

富士由比バイパスは四月二十六日に開通します。

新富士川橋は一五三〇m日本一の長さ。橋の通行料は、自転車の二十円、大型の四百円の範囲で各種の料金。現在二車線、四車線は五年を予定しています。

算税などの税金が余分にかかったり、納め過ぎた税金を返してもらえなくなつたりする場合がありますから、もう一度たしかめてください。

正申告をしたときはかかりませんが、なお、修正申告によって多くなつた税金は、修正申告と同時に納めることになっています。

#### 二、更正の申告

確定申告をしたあとで、所得や税額の計算がまちがっているため税金を余分に納め過ぎていたり、還付を受ける税金が少ないことに気づいた場合には、正しい税額に直す「更正の請求」をすることができます。

更正の請求により、税務署ではその内容を調査し、納め過ぎの税金を返すことになっています。

更正の請求のできるのは、申告期限の三月十五日から一カ年以内です。

#### 三、期限後申告

確定申告をしなればならない人が、忘れて申告をしていなかった場合には、期限後申告をすることができます。

期限後申告をしないで、税務署の調査により、決定の通知を受けますと、税額の一〇%の無申告加算税がかかりますが、自発的に申告したときには、五%ですむ場合もあります。

この期限後申告は早くした方が有利です。



富士由比バイパス新富士川橋



# 町文化教室 文集「間宿」発刊

富士川町文化教室の学級生の皆さんが、文集第一号・間宿(あいのしゆく)を手づくりで発刊し各方面から注目されています。

にも盛られてあり、これをお知らせすれば、文化教室の紹介となりましょう。

B5版42ページの手作り機関誌ながら、内容は、短歌九十一首(二十二名)詩(二名)俳句十首(二名)学習感想(九名)同日誌(十名)等、しかも、どのページにも、学級生の熱意が感じられ、ひきつけられてしまう——という「間宿」です。立派なものです。皆さん、一度ご覧になったら、と思います。(問合わせ先・町教育委員会)

文化教室の日記 (抜すい)  
六月十二日  
もの見方とデッサン

渡辺清先生  
顔をかくのに四等分にして中心に鼻、耳、目をかくことを覚える皆とても楽しそうだが、またどの顔も真剣だ。

六月二十三日  
パレエの基本と社交ダンス  
秋山祐貴子先生  
初めての人たちはばかりなので、なかなか大変な運動です。でも、皆若いので、体がやわらかく一生懸命です。社交ダンスは、ブルースとマンボ。

七月十日  
短歌の形式と表記方  
天野寛先生  
作り方の基本的態度等を学ぶ。

「間宿」(あいのしゆく)の内容

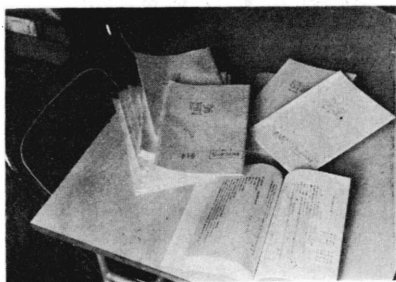
二十分間短歌をつくる。三十分間その批評。

七月二十七日

植物採集 八木勝先生  
植物採集にしては野田山は遠すぎた。

植物の名前をいく種類かおぼえ標本の正しい作り方などを学習、子どもと共に採集。

### 町文化教室発刊の文集



八月七日

七宝焼 佐藤道功先生

ペンダント、タイピン、指輪など一人二、三点作った。皆、少し色の使いすぎのようだった。色見本に先生が作ったのが、とてもきれいだっただけいかな。

八月二十日

文学散歩とスケッチ旅行

天野寛先生

目的・千本松原と我入道海岸  
牧水の人となり、時代的背景、歌の傾向について勉強。我入道海岸の芹沢文学館で郷土の作家芹沢光治氏をしのぶ。

九月四日

読書会 池谷九万夫先生

井上靖の「結婚記念日」等、愛というものを作者はどう取上げようとしたか話し合う。

九月十六日

七宝焼 佐藤道功先生

ほとんどの人が経験者、なごやかなうちに作業開始

十月十五日

短歌 天野寛先生

何気なく読みかかっていた歌が先生のお話を伺うと、もつと意味の深い歌であることに気づく。

十月二十七日

貼絵 渡辺清先生

週刊紙の色刷りの何枚かをちぎって、リングが、夕やけ空が、白かばの林が台紙の上にできあがる

十一月六日

町長と語る会

町長さん不在のため、教育委員会の平田課長さんに代役をお願いした。

三町合併問題、中学統合問題等を学習。

※以下、今年三月まで六回、このような学習を続けました。



「四月は残酷な月だ」  
— 英国の詩人 T・S エリオットの長詩「荒地」は、この有名な一行ではじまる。この詩句は、ライラックの花の香りに包まれた空の下で、血が流され、何十万の人が死んだ。その思い出である。非惨な情景を思い起こさせる自然の残酷さをうたいながら、実は、地獄を作り出した人間への絶望をうたったのだ。それから五十年。日本のいま、四月。花は開き(梅は枯れたヨ)緑は萌え(イヤに茶色っぽいナ)風は甘く(冗談じゃない、深呼吸したらゼンソクになるゾ。そういうや、子供の頃よく云われた深呼吸ってことば、聞かないネ)、空は花曇り(煙りだろう)……。

「いい陽気になりましたネ」ということばを、私も毎日つかう。挨拶だからである。四月の空に満ちている亜硫酸ガスが自然と人間を日々破カイしているのを知っているながら。

自然を破カイし、人類を有毒物質の塊りにして、やがて破滅にみちびくことでしか支えられない文明とは、いったい何であろうか。いっそ「残酷な陽気ですネ」というヘソ曲りの挨拶をする方が、人間らしい真実かも知れない。

社会教育専事 池谷九万夫

### 46年度奨学金

## 貸与14名者

二月号で公募しました町奨学金の希望者の審査会は、富士川町奨学金貸与条例にもとづいて、三月二十二日午前十時、老人福祉センター小会議室で開かれました。審査の結果、46年度は十四名全員がパス。大学生、年額十万円。高校生、年額五万円。

催の「民謡舞踊団・わらび座上演」は、三月二十七日(土)第一小体育館で挙行されました。

文化協会にとっても大きな行事で、役員皆さんの努力、劇団創災の協力によって、事故なく終演でき、しかも好評だったことについて池谷九万夫事務局長は、次のように語っています。

「一時開演というのが集りにどのように影響するか、心配しました。やはり、児童・生徒のおかあさん方の来場はごく僅かで、都合の悪い時間を実感しました。しかし、おじいさん、おばあさんが多数お見えになり、とくに第三部の「農耕の唄」では、次から次へとヤンヤの拍手、爆笑と、たいへんなお喜びようで、文化協会としても面目の立った行事です。なお劇団創災のお手伝い・後片付等

その奉仕に感謝しております」

わらび座は、わたくしたち日本人の心の故郷である民謡を唄い踊る舞踊団で、国内の隅々にまで足をのばし、本拠は東北。団員数実に三百余名という大世帯で、各班を編成し巡業しているといえます

### 北松野区民

#### ソフトボール大会

第四回北松野町内対抗ソフトボール大会は、春分の日(21日)二中グラウンドで開催。

絶好のスポーツ日和に選手一同なごやかな一日を楽しみました。

優勝 半在家チーム 二勝

楡下 一勝一敗

大北 一勝一敗

山田・堀ノ内 二敗

(石川通信員)

### ▼富士川短歌会 ▲

## 一月詠草

天野 寛選

望月 録

末等の当りし賀状に孫達は口論しおり切手を得べく

子供の世界もよい歌材である。一等や二等でなく末等だからより効果的である。初句は「末等に」である。

鈴木みつる

わが車走る山路を野猿の群横切るが見ゆ手をひくも居て

特殊な情景をうまく処理して一首にまとめあげている。結句から猿の姿態が目に見えるように感ぜられる。

高橋勝治

木枯の吹く日盛りに干魚の目ざしの色の青く光れり

忠実な写生には好感が持てる。三句以下のきびきびした叙述に比し、一、二句は生ぬるい表現である。

植松法子

生れてより一月目なるみどり子を深く抱きて風呂に入れたり

生後一カ月の子をはじめ湯に入れた作者の感動が「深く抱きて」にあらわれている。作者は新会員で歌歴は浅いが姿勢は正しい。大いに自重奮発を望みたい。

### 〈国鉄からのお知らせ〉

## 旅行相談員

今回、国鉄ご利用の皆さんのため、旅行に関する相談にお答えする「旅行相談員制度」を発足させました。

国鉄旅行のことなら、なんでもお気軽に左記相談員へどうぞ。

松野地区……深沢正吾・佐野正治  
長谷川孝允

富士川地区……池上鉄雄・斎藤茂治  
野萩七郎(以上相生町居住) 田村

富士夫・望月昭吾(以上旭町) 斎藤満(本通) 佐藤昭雄・松沢光寿

梅島久雄(以上新四) 大獄治夫(東町)

## 人の流れ

(敬称略)

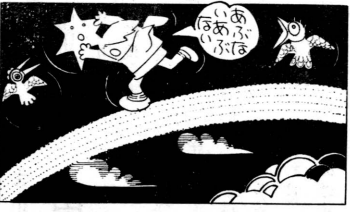
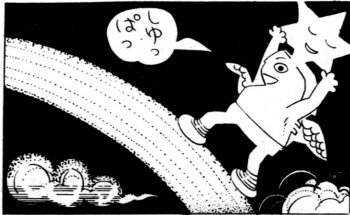
46 1・20~46 2・19

### 祝 誕 生

区名	氏 名	保護者	続柄
相生町	斎藤佳子	臣弘	長女
八幡町	望月磨希子	広美	長女
南町	清水徹也	政一	長男
八幡町	稲葉佐枝子	清一	三女

## 星の子

太田 利三



## 「わらび座」

おばあさん方喜ぶ

町文化協会(秀村敏朗会長)主

お劇団創災のお手伝い・後片付等

優勝 半在家チーム 二勝

楡下 一勝一敗

大北 一勝一敗

山田・堀ノ内 二敗

(石川通信員)

清水町	加藤健吾	巖	長男
南町	望月真樹	真治	長男
南町	岩本香保里	健治	長女
小山	横山智美	文男	長女
宮町	芦沢幸浩	常二	長男
南町	望月真紀	洋	長女
川坂	清弘司	武由	二男
堺町	太田香織	文雄	長女
南町	佐野繁美	長生	長女
東町一	望月伸一郎	寛次	長男
川坂	小永井恵美	輝雄	三女
四十九	佐野智之	照夫	長男
坂下	藤島靖大	肇	長男
儘下	栗原利子	秀順	長女
八幡町	稲葉昭博	照雄	長男
南町	川島千穂	恭平	長女
旭町	佐々木邦夫	捨朗	二男

宮町	斎藤幸子	〃	
南町	宇佐美比早世	東京都	
舟山町	池谷ささえ	沼津市	
清水町	久保田秀子	富士市	
木島	望月町子	駿東郡長泉町	
坂下	加藤ひろ子	神奈川県	

区名	氏名	年令
小山	斎藤だいたい	八二
南町	望月郷作	七六
幸町	清ひで	七七
相生町	加茂とよ	七七
四十九	若月たよ	八二
八幡町	稲葉代次郎	八一
富士見町	望月文俊	〇
宮町	望月の	七二
堺町	久松清一	七一
東町二	植松正治	五七
富士見町	稲葉もと	七七
四十九	辻新作	九〇
本通一	福井もとじ	五九
新町	堀沢清次	五七

編集覚書

プレハブ庁舎の二階、議事室務局室で、ひとり原稿を書いていると、隣家の庭から、鶯の音が聞えてきた。

けなげな顔が見えるようだ。「自然」のはかりしれない尊貴な価値を痛感する今、その可憐さに敬意をおくる。

81—1—1—広報富士川 斎藤博

山女

氏車 十

やまべは、やまめとも言い、漢字であてると「山女」である。上部は青黒く、側面に黒い斑点のある魚体は美しい。その姿態とあわせて、昔、男たち、とくに釣人の連想をそそのかしたからか。



春も色濃く、山吹の花が黄金に染まる頃、山女の好漁を迎える。吉津の留にとっては、隠し女との逢瀬を愉しむに似た、ときめく魅惑の季節である。

留の、このささやかな秘密は、ぶすっとした表情に守られていたが、気嫌のよさが体臭のように発散するのはやむを得ない。留の連合は、そんな亭主をいとしく思った。山女の体油は万病に効き、とくに耳疾に卓効があったので、薬屋はもちろん、一般の需用が多量に必要で、手がける者は極く少なかった。

いつも携行する土鍋、濁酒の竹筒、一握りの麦、味噌等を詰めた袋を背に、二間半の釣竿と魚籠をかっさ、早い足どりで富士川をさかのぼって南松野のはずれで左折

し、小川の奥、あてのある深流に達した。

留が留になる独壇上である。胸一杯甘い大気を吸った。例のとおり、せつない興奮がしのびよってくるのを感じたからである。

陽光が、ようやく緑越しに水面に撥ねる。留は、かましく岩を叩いて散るしぶきを避けて、深みの裾へそっと竿を振った。



今の時間で三時近い。釣を終えた留は、鍋へ麦を入れ、水を張って、川岸から離れた大岩の蔭で火を焚いた。やがて、味噌も煮えとけて、麦汁が芳ばしく沸騰すると清流に漬けた魚籠の中から無造作に一匹取り出してきて、そのまま鍋へ投げ入れ蓋をしめた。虎杖(いたどり)の若い茎を摘み、火を弱めてから、この春の菜を汁に散らした。

大きな釣果に満足して呑む濁り酒の味は格別で、その酔に、生きる喜びがふくれあがる。



帰り仕度をすませ、魚籠を水から揚げようとしたとき、ちらっと動くものが目端に捕えられた。留は茫然とした。

女の裸身である。上流、数間先で、後向きになった女が体を拭っ

ている。それは妖しい光景ではあるが、みだらなまめかしさは伝わってこない。

腰までの長い黒髪が、肌をひときわ白く浮きださせる。

洗い終った女は、息もつけずにいる留を残し、石を伝ってさっと木蔭に消え去った。

——あれが山の民、山の女か。奇麗じゃのう。どこか、この辺に旅寝をしているものとみえる。それにしても、やまべのような肉付きの女じゃ——

留の想像どおり、この春、甲州から谷を渡り峯を越えて木曾へと移動しはじめた山の民の女だった。住居は、漂泊するのに都合のよいように天幕のようなもので設営された。二、三日、あるいは気になった土地では十日ほどという具合に暮していくのである。

女の顔が分らなかつただけに、留に焼きついた残像は、やがて、精霊、しかも、やまべの精として生き生きと復活してきた。



話をしてくれたのは、浦野という、やはり山女釣の名人である。彼もまた山吹の花の訪れを待っている。

山女との逢瀬を覚えてか、目の輝やきが美しい。やまべを漢字で山女とあてたのも当然だと思ふ。